

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

10月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

第5回山鹿市民医療センター「市民公開講座」を開催しました!

当センターは、平成24年11月から熊本県指定がん診療連携拠点病院として、がんに関する予防、診断、治療および緩和ケアに至るまで、鹿本医圏域のがん診療の中心的役割を担っております。

毎年開催しておりました「市民公開講座」も新型コロナウイルス感染症のため、3年間中止しておりました。しかし、本年度は9月9日(土)に「山鹿でできる肝がん予防と治療」をテーマに「第5回市民公開講座」を開催致しました。



お暑い中、約170名の皆さまにご来場いただき心より感謝申し上げます。

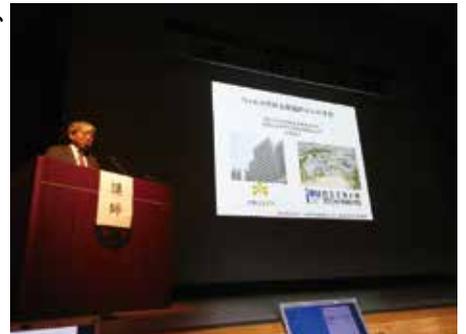
今回は当センター地域健診室保健師の鹿子

木光葉、消化器内科長の本原利彦、事業管理者 外科別府 透、腫瘍内科長の宮本英明、外科医長の織田枝里に加えて、大阪公立大学病院 肝胆膵外科 客員教授 久保正二先生にご講演いただきました。

肝がん検診、ウイルス性肝炎関連肝がんの予防、メタボ関連肝がんの予防などの今日からでもできる肝がん予防について分かりやすく説明されました。また、当センターでできる肝がんの手術や薬物の治療や緩和ケアところのケアのお話もありました。山鹿でも肝がんの予防、

早期発見・診断、治療、緩和ケアまで行えることを市民の皆さまにお伝えするよい機会となりました。

様々ながんに対しても早期発見・治療が重要ですが、さらにそれぞれの患者さまに合わせた適切な治療法の選択が必要になります。講演の最後に当センターの事業管理者が申していた通り、いつでも患者さまやご家族の立場に立ち、よりよい治療の選択ができるように心がけてまいります。



私たちは、患者さまを中心に多職種が「ワンチーム」となり、患者さま一人一人を組織全体で支援していかうと考えております。

当センターには、がんについて専門的に相談ができるがん対策支援室も配置されておりますので、何かございましたらご相談いただければ幸いです。

(文責：副看護部長 辻崎 小百合)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

- 第5回市民公開講座を開催しました …… P 1
- 第42回Microwave Surgery研究会開催報告… P 2
- 山鹿灯籠まつり納涼花火大会を終えて…… P 2
- 医療最前線 (151) …… P 3
- 外来担当医表 (10月) …… P 4

## 第42回 Microwave Surgery 研究会開催

令和5年9月8日～9日に第42回Microwave Surgery研究会を山鹿市民交流センターにて開催致しました。

この会は1983年に発足し、マイクロ波の誘電熱エネ



ギーを利用した治療機器とその臨床応用をテーマとする歴史ある全国研究会です。当院の別府透事業管理者はこれまでもマイクロ波を使用した肝臓治療に積極的に取り組んできており、第42回研究会を会長として開催する運びとなりました。

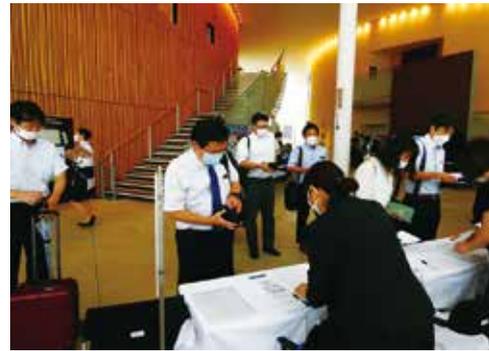
今回は「マイクロ波アブレーションを究める」を主題とし、①大腸癌肝転移のマイクロ波アブレーション、②マイクロ波デバイスの手術への応用、を中心に演題を募集したところ、全国から多数の応募をいただき、最終的にセミナーを含む41題の講演、発表が行われました。1日目はマイクロ波機器の開発や使用知見に関するセッション、大腸癌肝転移の治療方針に関するシンポジウム、別府会長による大腸癌肝転移の集学的治療についてのイブニングセミナーが行われました。2日目は主として肝臓治療の熱凝固療法について症例検討、治療成果等が討議され、最前線の癌治療の現状について様々

な発表が行われました。両日を通じこの分野の主導的立場の方々が全国からこの山鹿の地に集まり、忌憚のない意見交換が行われ、地方開催の研究会としては特筆すべき内容だったといえます。



全国から150名を越える多数の方にご参加いただき、おかげさまで盛会のうちに無事終了となりました。加えて、県内外の方々に当地の名物（温泉、灯籠踊り、お酒など）

を楽しんでいただけたようで、大変好評でした。山鹿・鹿本圏域のイメージアップにも大いに繋がったものと思っております。



昨年から当院が一丸となって取り組んできた事業でしたが、事務局、学会スタッフそれから診療を支えてくれた皆様方、本当にありがとうございました。また、山鹿市、医師会、熊本大学消化器外科同門会等各方面からご支援とご協力を賜りましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(文責：学会事務局長 石河 隆敏)

## 令和5年 山鹿灯籠まつり納涼花火大会を終えて

令和5年山鹿灯籠まつり納涼花火大会が開催され、美しい打ち上げ花火や仕掛け花火など約4,000発が夏の夜空を彩り、灯籠踊りは花火に負けない幻想的な美しさで観客を魅了していました。

山鹿灯籠の起源は、深い霧に行く手を阻まれた第12代景行天皇のご巡幸を、山鹿の里人たちが松明を掲げ無事にお迎えしたことに由来します。以来、里人たちは行在所跡（現在の太宮神社）に天皇を祀り、毎年灯火を献上するようになったのが始まりとされています。

毎年8月15日に開催される山鹿灯籠まつり納涼花火大会は、コロナ禍や雨天もあり、2019年以降5年ぶりの開催で、今年は待ちに待った久々の花火大会となりました。楽しみにされている様子の浴衣姿の方々・ご家族の方が明るいうちから河川敷に歩いて来られておりました。例年は3万人ほどの観覧者でありましたが、今年はさらに数多くの来場が予想され、安全に配慮した救護の対策を行いました。

救護の主な役割は、体調不良やケガをした方の対応、救護要請が生じた際の救急搬送の判断と対応となります。本年も当院から5名の看護師が救護担当として参加しました。転倒や靴ずれで本部に来られた方へ軽い応急処置を行い、体調不良で座り込まれている方にはスポーツ飲料を渡すなどの対応を行い救急要請や大きな事故の発生もなく終了することができました。

ご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。これからも歴史ある山鹿灯籠祭りを楽しみに来られる多くの方に安心して楽しんでいただけるように、自治体病院として協力していきたいと思っております。

(文責：がん相談支援センター 看護師長 豊福 貴子  
緩和ケア病棟副看護師長 横手 貴子)



## 医療最前線 (151)



## 潰瘍性大腸炎の新規薬剤について

消化器内科医

竹野 洋司

2022年5月30日、潰瘍性大腸炎治療薬のカロテグラスト（商品名：カログラ錠）が発売され、2023年6月～処方日数制限が解除されました。カロテグラストは経口投与可能な $\alpha 4$ インテグリン阻害剤として初めて発売された薬剤です。日本で作られたメイドインジャパンの薬です。

潰瘍性大腸炎は、「主として粘膜を侵し、しばしばびらんや潰瘍を形成する大腸の原因不明のびまん性非特異性炎症」と定義されている慢性難治性の炎症性腸疾患です。我が国における推定患者数は約22万人で、難病に指定されており、難病の中で最も患者数が多い疾患です。遺伝的素因や環境因子、心理学的因子が複雑に関連して発症されると考えられていますが、未だに発症原因の詳細が明確に解明されていないことから、根本的な治療法は確立されていないのが現状です。また、多くの患者は再燃（活動期）と寛解（寛解期）を繰り返し、活動期には寛解導入治療を行い、寛解導入後は寛解維持治療を継続し、長期にわたり病勢をコントロールする必

要があります。

カロテグラストの効果効能は中等症の潰瘍性大腸炎（5-アミノサリチル酸製剤による治療で効果不十分な場合に限る）です。5-ASAで炎症のコントロールがつかない場合、従来であればステロイドの使用が選択されることが多かったのですが、ステロイドの代わりにカロテグラストも候補になるということです。いままで、副作用の懸念からステロイドの使用を敬遠するケースも少なくなく、その結果、生物学的製剤などが前倒しで使用されるケースも増えており、感染症などの副作用や生物学的製剤に対する二次無効の発現などが臨床現場で問題視されていきましたので、カロテグラストの登場で、こういった問題も多少は改善できるのではないかと考えています。

当院では、軽症から重症まで、5-ASA製剤から生物学的製剤、もちろんカロテグラストでの加療も行っておりますので、気軽にご紹介いただければ幸いです。潰瘍性大腸炎は他の難病の疾患と比較して、治療薬が多く、治療の選択肢が多いですが、未だに完治には至りません。今回紹介したカロテグラストの登場で、治療の選択肢が増えたのは間違いありませんが、寛解導入薬にしかすぎません。今後、潰瘍性大腸炎が完治できる治療法が確立されることを願うばかりです。

## 第54回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名  
81. 終末期のケア

下記により第54回公開特別講演会を開催いたします。  
多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典  
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和5年10月13日（金）19：00～  
形式：ハイブリッド方式（オンライン参加or会場参加）  
会場：オンライン参加 / Zoomミーティング  
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター  
演題：「急激に変化する緩和医療と緩和ケアセンターの役割」  
司会：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 先生  
演者：熊本大学病院 がんセンター  
緩和ケアセンター長 吉武 淳 教授

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから御参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/91750204481>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 917 5020 4481  
パスコード : 435709

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 深水、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会  
山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会



# 外来担当医表

10月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※濱田 昌平	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科	—	※富口 麻衣 (完全予約制)	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。  
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。  
 ※ 非常勤医師です。 \* 第2、第4のみ診療となります。

# 特殊・専門外来

10月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医 宮本 英明	毎週 火曜・水曜 毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	10/2月、3月、10月、12月、16月、17月、23月、24月、26月、30月、31月	
P E G 外来	担当医	毎月 第2水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約制)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。  
 ◎急患の場合は、この限りではありません。  
 ◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。  
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

 **山鹿市民医療センター**  
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>